

生活クラブ神奈川の組合員がつくる 組合員への機関紙
未来につなげる転換点(epoch / エポック)

隔月発行
2023

3.4月号 Vol.168

ちよこつと



生活クラブ神奈川にある、
5つの地域生協の名前は？
→ヒントは2ページ

えぽ



特集

今こそ、組合員の力の見せどころ！

地域で進める ローカルSDGs

場所：生活クラブステーション海老名(海老名市国分南)

生活クラブのローカルSDGsって？

様々な社会課題を2030年までに解決することを目指す、世界共通の目標「SDGs」。これを地域レベルで実践し、みんなが生き生きと暮らせるようにするため、生活クラブでは食・環境・たすけあいなど様々な分野で組合員が地域に根差した独自の活動を行っています。



今こそ、組合員の力の見せどころ！ 地域で進めるローカルSDGs

生活クラブ神奈川では県内を5つの地域にわけ、それぞれ独立した法人生協＝地域生協として事業や組合員活動を行っています。地域が変われば、課題や取り組みも様々。地域資源やそこに暮らす人に合わせた活動を、その地域に暮らす組合員自身で行い、コミュニティづくりを進めています。今回は地域生協理事長のみなさんに、各地の活動を伺いました。



2023年1月からは多世代食堂 Minnade とフードパントリーをプレオープン。食材は組合員の寄贈・フードバンクかながわの提供と、購入分は組合員カンパで賄いました。



横浜みなみの組合員活動を紹介する「みなコミュ」はこちら

横浜みなみ生活クラブ



理事長 籠嶋 雅代さん

組合員活動の始まりは？
近所の組合員に誘われて、エコロ講座に参加したことです。先輩組合員にはとてもお世話になり、自分も企画側になることで少しでも恩返しになるかなと思いました。運営委員や担当理事が楽しそうにしていたのも理由の一つです。



物件探しから組合員が行った「生活クラブステーションはだの」。共同購入の場所としてだけでなく、マルシェなど組合員の拠点としてすっかり定着しました。

※生活クラブステーションの詳細は、えぼ22年9・10月号デジタルブックへ



湘南生活クラブ



理事長 飯田 厚子さん

組合員活動の始まりは？
子どもに手が届くうちは、班のみなさんが積極的に役割を担ってくれていました。段々と手が空いてきた頃、今度は自分が支える側になると運営委員になったのがきっかけです。



湘南エリアで居場所活動を行う団体の詳細をマップ化。毎年更新する予定です。



理事長 飯田 厚子さん

「より暮らしやすい地域にするため、積極的に組合員が楽しんで参加してほしいですね。」
2022年11月にオープンした組合員活動を紹介するホームページ「みなコミュ」で、参加メンバーを募集しています。
他にも、みなコミュではイベント情報のお知らせや、サークルのような「コミュニティ」を組合員がつくり、参加することができます。誰でも組合員活動に参加でき、みんなが主役なんだというところを、みなコミュを活用して実感してもらえたらいいなと思います。

「様々な取り組みを行うことになったのは、なぜでしょうか？」
旭センターでは組合員活動としての「子育てくらぶ」、横浜市旭区主催の「赤ちゃん教室」が定期的に開催されています。参加者からはまた開催してほしいという声が集まり、子育て世代が集まれる居場所が求められていることを感じていました。
こんな実感があったので、どう活用していくか意見交換すると「子育て世代を意識した拠点にしよう」とまとまったんです。シェアハウス以外の運営は、私たち横浜みなみが担当します。旭区の社会福祉協議会、自治会、旭区、近隣小学校との連携も進んでいきます。組合員も組合員でない方も、色々な人が関われる居場所にしていきます。

「旭センター3階を活用した「ホームタウンみなみ」が4月に始まりますね。」
横浜みなみ組合員の拠点である旭センター3階には、長年空きスペースがありました。活用を思案していたところ、子育て支援・居住支援事業を手掛ける「NPO法人さくらんぼ」から「ケア付きシェアハウスとして活用しないか」と生活クラブ神奈川へ打診があった。3者の協同で、女性対象のケア付きシェアハウス・多世代食堂・持ち帰り型フードパントリー・保育スペースを備えた「ホームタウンみなみ」に取り組みことになりました。

「居場所づくりの展開で、地域の力がついていきますね。その他の特徴はなんですか？」
湘南生活クラブ、生活クラブ神奈川、NPO法人W・Co協会との共同企業体として自治体より受託している、就労準備支援事業の「はたらつく・ゆがわら」は「はたらつく・ひらつか」では、ボランティアサポーターとして参加する組合員も増えています。
湘南では直接会える関係性を大切に、「みんなが考える」ためのきっかけをどんどんつくっていきたいと思っています。

「湘南は海も山もある、自然豊かな地域ですね。」
湘南エリアには、横浜市・川崎市に次いで人口が増えている藤沢市がある一方、過疎化が進む地域もあります。土地柄だけでなく、そこで暮らす人たちも多様性に富んだ地域です。
「とくいな」は、組合員の関心も様々でしょうか？
海があることからマイクロプラスチックなどの環境問題や、「たすけあい」をテーマとした取り組みや学習会にも関心を持つ組合員が多いです。
2022年は特に居場所づくりに力を入れ、湘南エリアの居場所を視察しマップにまとめました。何かあれば声をかけようと顔がつながり、地域を豊かにするきっかけの一つになったかなと思います。

「今後は、居場所づくりをしたい人が実際に手がけるにはどうすればいいの、実践者からヒントをもらえる連絡会の開催も検討しています。2022年から取り組み始めた生活クラブステーションでは学習支援を行う計画があり、また藤沢市で空きスペースを活用した取り組みにも今後力を入れていく予定です。」

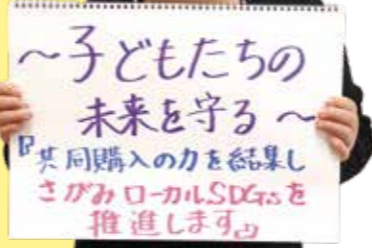
※詳しくは11ページへ



さがみ生活クラブ

理事長 矢野 克子さん

組合員活動の始まりは？
子どもを連れて企画に参加することが多く、先輩組合員にはとてもお世話になっていました。しばらくして所属コモンズが分割し、新しく設立した運営委員会で委員をやってみなかと声をかけていただきました。



2022年12月に、相模原センター近隣の方に向けた「生活クラブ地域感謝祭」を開催。用意した豚汁&お赤飯100食分は綺麗になくなり、大盛況！新しい仲間も増えました。



組合員から使っていない畑を活用できないかと声がかかり、50mプール程の広さ（300坪）の畑を借りることにしました。ノウハウも資材もないゼロからのスタートですが、おおぜいのメンバーが集まり、自然栽培・農業と福祉の連携、畑で井戸端会議など多様な可能性が生まれています。畑から社会課題を見つめ、さがみのローカルSDGsを推進する場として既存の活動と連携してまいります。

2022年は相模原センターで、新しい取り組みが始まりました。
2016年から始めた食支援活動『あいおいみんなの食堂』に加え、学習支援『みんなのいばしょポプケ』と生活クラブステーションが始まっています。地域の方が週に一度、生活クラブステーションに集うことで、地域コミュニティの場や個人の心配事が解決できる場になることを目指しましたが、理解を広げることがなかなか難しい1年目でした。生活クラブステーションでは単純に生活クラブの仲間を増やすのではなく、身近な地域課題を解決できる「地域の場」となるよう組合員・ワーカーズ・職員の3者で広げてまいります。
1より地域課題に密着した、密度の高いメッセージを投げかける必要があったのでしょうか。
さがみエリアのコモンズは活動エリアが広く、一つのコモンズで都市部も山間部も含む場合があります。地域課題が多岐にわたります。その課題全てを一つのコモンズで解決しようとすることは難しく、地域にメッセージが響かないこともあったかもしれません。そこで今後は、各地域に合った活動が展開できるようにコモンズの分割を検討していきます。
1地域性に合わせて、組合員組織の形を変えていくんですね。その他に予定している取り組みはありますか？

横浜北生活クラブ

理事長 大池 玲奈さん

組合員活動の始まりは？
すすき野デポーに野菜を卸す地場野菜生産者の畑に援農に行ったことがきっかけで、消費委員になりました。一度離れた時期もありましたが、東日本大震災が起きて、自分にできることをしようと戻ってきました。



2022年12月には、地域の方とつながろうと綱島商店街で芋煮汁を100食振る舞いました。

活動を行う組合員へのインタビューなど、組合員活動を始める後押しになる一冊。横浜北の新規組合員に配布しています。

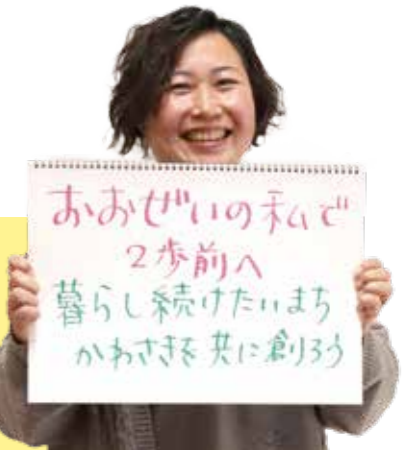
横浜北では、これまで食支援の団体とネットワークを築いてきたこと、また身近にデポーがあり活動の拠点をつくりやすいうことから、食支援や居場所づくりに関わる人が増えてきています。各地でフードドライブ・フードパントリーや食堂などを開催したり、外部団体と連携して展開したり。外部団体と関わることで、生活クラブの目指すところを改めて見つめ直すこともできるようになりました。
1今後はどんな活動をしていきますか？
消費材の共同購入という事業があるからこそ、社会的な活動を自前でできる。生活クラブの強みはそこにあると考えています。活動と事業は両輪です。食が危ぶまれているいま、2022年で築いた横浜北の組合員の力をもとに、食の持続可能性をみんなで考えていきたいです。

横浜北はデポー組合員がコモンズ組合員より多い唯一の地域生協です。
2022年度は活動参加を増やすための取り組みに、コモンズ・デポーともに力を入れました。
コモンズでは加入2年目の方全員にアンケートを配布して、生活クラブの何が気に入っているのか、何を求めているかを分析し、ワークショップを経て組合員活動の紹介パンフレットを作成（写真）。自分たちがなぜ活動をするのか、見直す機会になりました。
デポーでは未就学のお子さんがいる方を対象にキャンペーンを行い、デポーの価値とは何か、働くワーカーズとも意見交換を行いました。2022年は横浜北の活動への共感が高められた年だったかなと思います。
1専門的な活動ではどこに力を入れましょうか？

かわさき生活クラブ

理事長 野村 美湖さん

組合員活動の始まりは？
退職して企画に参加できるようになり、そのうちにコモンズの会計を頼られました。退職の際「次に何か頼まれたらなんでも引き受けよう」と思っていたのですが、まさか組合員活動の幅がこんなに広がって思いもよらなかった。



2022年は、高津センターに生活クラブステーションがオープンしました。その状況はいかがですか？
歩行者の多い道路に面した場所につくったことで生活クラブやW.Coを地域にアピールしやすくなり、新しい組合員がたくさん増えましたが、消費材の利用は伸び悩んでいます。そこで、仲間づくり活動の軸「出会う、対話する、つながる」の対話の中身をより良くしていきたいと考えています。
2023年は原点に戻り、食・消



2022年の年末には「活動ドーンと大交流会」を開催し、70名あまりが参加。かわさき生活クラブの全てのコモンズ・デポーが、動画・歌・スピーチなどで1年間の活動を発表しました。



1お気に入りの消費材を、誰かに語りたい！そんな方がたくさん増えそうです。その他に予定していることはありますか？
川崎市は2024年に100周年を迎え、記念事業として全国都市緑化かわさきフェアを開催します。その事業検討の場にかわさき生活クラブとして参画し、新しい川崎の文化として「農あるまちづくり」を発信したいと考えています。
かわさきでは、デポーに野菜を卸す向丘（むかおか）農産物流通組合と関係を築いてきました。以前に援農（農業ボランティア）に行った際、ペタン生産者は今後の生産に希望を持っていたのに対し、若手生産者は悲観していたことに驚いてしまいました。全国でもきつと同じ構造と考えると、若い方に農業をやった良かったと言ってもらえる地域を市民と一緒につくっていかねばいけません。各地域で、食べるだけではなく、コミュニティをどうつなぎ直すが、おおぜいの組合員と考え活動していきたいと思っています。



向丘農産物流通組合とは、援農や体験型農園を実施しています。「農あるまちづくり」の一環として親子に畑に行ってもおもしろい、生産者の畑で芋掘りを行いました。



各地域での活動は、地域生協が発行する機関紙をチェック！

該当地域の組合員が作成しています。

生活クラブではこれまで、地域課題を見つめ、考え、行動し、同じ思いを抱く仲間を増やして、おおぜいの組合員の力で社会を変えてきました。みんなが暮らしやすい地域にするには、一人の力ではどうにもできません。
まずは興味のある企画に参加するところから、あなたも「組合員活動」をはじめてみませんか？

生産現場を点検して
もっと自慢の消費材これ!

食の未来をつくる **私たちの消費材**

消費材 Step Up 点検 ~庄内遊 YOU 米~

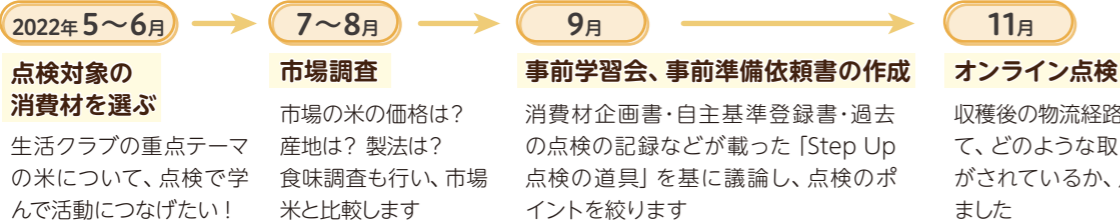
「消費材 Step Up 点検」とは、組合員と生産者が一緒に決めた基準※に沿って消費材が作られているか、組合員が生産地や工場を点検して、生産者と共に消費材をより良くしていく生活クラブならではの活動です。今回は「生産者交流会でもあまり話さない『庄内遊 YOU 米』の収穫後の経路を確認し、組合員みんなに米の魅力を伝えたい!」と、JA 庄内みどり・全農パルライス(株)と共同購入政策委員会がオンライン点検を実施しました。普段は見られない収穫時期の動画や資料をもとに、『庄内遊 YOU 米』の魅力を改めて知ることができました。

生産のこだわり
は YouTube で!



※持続可能な生産と消費のための「生活クラブの消費材 10 原則」に基づくガイドライン

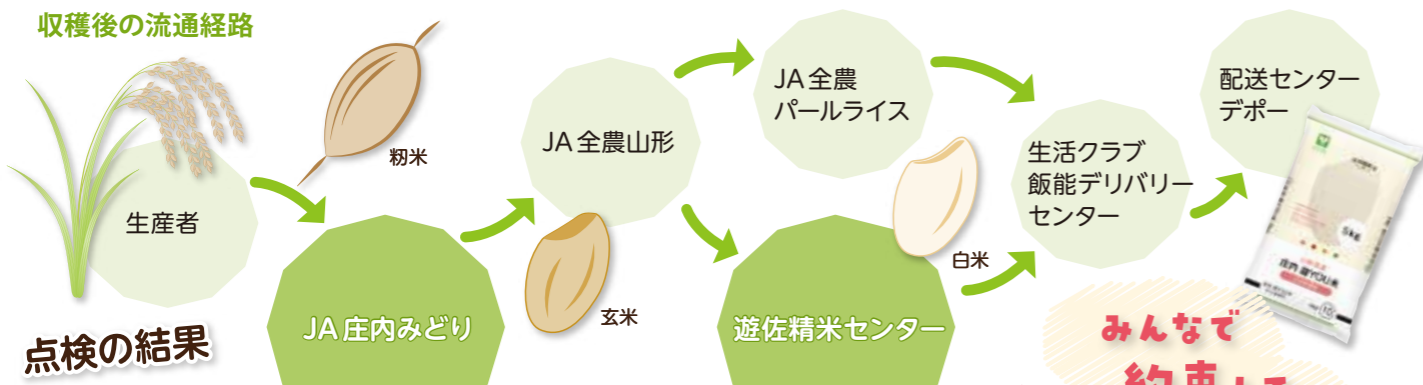
今回の点検の流れ



点検のポイント

- 収穫後、生産者からどのように届けられる?
- たくさんの種類のお米を、どうやって分別管理・品質管理している?
- 省エネなど、環境に配慮した取り組みは?

収穫後の流通経路



点検の結果

粗米を共乾施設(カントリーエレベーター)で乾燥・貯蔵・中撈りし、玄米にする



JA 庄内みどりの共乾施設では米の種類ごとに受け入れ日が決まっており、入口・荷受口に係員を配置。別の種類の米が混入しないように明示している。

精米・袋詰め



遊佐精米センターでは、組合員の注文に合わせてその都度精米し出荷している。

遊佐精米センターでは化学合成薬剤を使わず、定期的に清掃している。

生活クラブでは、2020年は巣ごもり需要で『庄内遊 YOU 米』を契約数量すべて食べ切りましたが、2022年は1,475俵(約88,500kg)もの米を食べ残す結果となりました。**作付面積を一度減らしてしまったら、田んぼは元には戻せません。**作付は生活クラブとの話し合いで決めています。約束した量は組合員がしっかり食べることが大切です。**生産から消費まで情報公開され、安心して食べられるお米を予約登録して、みんなで食べていきましょう!**

予約の方法は HP へ



分別管理・品質管理の取り組み

環境に配慮した取り組み



助成団体が自身の活動を紹介
様々な地域課題が見えてきます



贈呈の様子

贈呈式参加者のみなさん。オンライン参加もありました



かわさき生活クラブ
前地康枝

このコーナーでは、生活クラブ神奈川が
取り組む活動を紹介しています

活動情報

報告

100円でもできる地域(へん)

第18期

福祉たすけあい基金贈呈式

組合員を中心とした市民による毎月100円の寄付で、非営利の市民活動に助成する「福祉たすけあい基金」。第18期贈呈式を開催し、17団体に総額400万円を助成しました。今回の申請団体の活動テーマは障がい者支援が最も多く、生活困窮者支援、居場所づくりと続いています。

贈呈式では、地域の課題解決のためボランティア活動に取り組んでいる人がたくさんいて、地域に必要なたすけあいが行われていることが、助成団体の活動紹介から実感できました。贈呈式は、単に助成金を渡すセレモニーではありません。課題解決に向けて活動している人とその活動を応援したい人(組合員)がお互いの存在を知って、地域でたすけあいを進めるためのパワーをもらい、誰もが暮らしやすい地域づくりを一緒に進めるきっかけとなる場です。

福祉たすけあい基金に既に参加の方もまだの方も、年2回の贈呈式にぜひ参加(オンライン視聴もあり)し、基金の意義を実感してください。活動への直接の参加は難しい方も、地域の活動を応援し賛同の意思を伝えられる福祉たすけあい基金に参加し広め、一緒に地域をより良くしていきましょう。

助成団体の詳細は HP へ



2022年12月7日(水)
@オルタナティブ生活館
(オンライン併用)

募集

実践者の取り組みから社会課題を考える

神奈川大学寄付講座

生活クラブ神奈川は協同組合やNPOなどをはじめとした「非営利・協同セクター」への理解を広げるため、2012年度から神奈川大学で寄付講座を開催してきました。2023年度も講座を通して、社会課題をおおぜいの市民と考えていきます。講師は協同組合の研究者などの識者、生活クラブ運動のリーダーが登場予定です。

学生だけでなく
どなたでも
受講できますので、
ぜひご参加
ください!

申し込みは
3/31(金)まで
詳しくは HP へ



講座内容

- 期間** 4/12~7/19(5/3はのぞく) 全14回
- 時間** 毎週水曜日 / 13:30~15:10
- 会場** 神奈川大学横浜キャンパス (横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)
- 参加費** 無料

※2023年度は実参加開催計画のため
オンライン配信を行いません

問い合わせ 政策調整部
☎045-474-0985
(月~金・祝 9:00~17:00)

みんなで作る
利用者
コーディネーター
サポーター
賛同者
たすけあいの仕組み

ちょっとお願い！ エコロプラス 最終回

エコロ共済に100円/月をプラスして参加できる、エコロプラス。地域のコーディネーターが、あなたの「ちょっとお願い！」に応えるサポーターにつながります*。そんな仕組みを覗いてみましょう！

※利用条件あり

今回は 仕組みを支える賛同者編 です

「エコロプラスはいい仕組みだけど、利用も手助けもできないから関係ないかな」そんなあなたは、利用者でもサポーターでもない、賛同者として仕組みを支える一員になりませんか？今回は毎月プラス100円で誰かの手助けをしている、かわさき生活クラブのお二人にお話を伺いました。

いずれは私も利用者としてお世話になる日が来るかもしれません。それまでこのたすけあいが続くことを願って、参加を続けます。



高津 コモンズ
つじたりょうこ
辻田 僚子さん

エコロプラスに参加したきっかけは？

出資金在高確認集会で説明されたことがきっかけです。エコロプラスは都度の利用料がかからず、サポーターへのお礼が掛け金から支払われ、利用者とサポーターをコーディネートしていただけるなど、困った時に頼りやすい仕組みだと思いました。

賛同者として参加した理由は？

妊娠中・子育てで誰かの手を借りたいことがあっても、友人に頼るのは気が引けるしお礼も気を遣うので、家事代行サービスにも頼りながら結局自分で何とかしてきました。利用資格がある時期は、きっと少しでも節約したく、手助けが必要な時。私はいま利用できませんが、生活に余裕が出てきたいまだからこそ、仕組みを支えたいと思いました。

※利用条件①妊娠中または小学3年生までの子どもがいる(4月から「6年生まで」に拡大)②18歳以下の子どもがいる母(父)子家庭③障がい児、障がい者が家族に④要介護認定者が家族に⑤加入者本人が70歳以上(独居者は65歳以上)

エコロプラスに参加したきっかけは？

導入時に組合員活動のなかで知りました。既存のエコロ共済は、顔見知りの組合員同士のたすけあいを促進する仕組みで、とても良いものだと考えていました。ですが、加入したての方や多忙で組合員活動に参加しづらい方は組合員同士の繋がりを持たず、手助けをお願いする人を探すことが難しい面もあり、課題を感じていました。そんなときに、コーディネーターがいる仕組みができることで、もっと使いやすくなるのでは！と賛同しました。

賛同者として参加した理由は？

いまは遠方に住んでいて直接の参加はできませんが、賛同者として支払う毎月100円が困った利用者さんとサポーターさんを繋げて助けになると思うと、行動で参加を示さなくてもできることがあるのだと思えます。

自分ができる形で参加できることが、エコロプラスの良い点です。エコロプラスは、みんなできると良い暮らしを作る仕組みだと思います。



たかつデポー
おびなた ゆき
大日方 由紀さん

エコロプラスに興味がある方は…

問合せ ユニオン共済事務局
☎0120-311-543(月～金・祝 9:00～17:00)

動画で解説！
利用条件など、
しくみの詳細はHPへ



私と生活クラブ



さがみ生活クラブ
海老名コモンズ
清水 ももよさん
●2018年11月加入

生活クラブに加入して、暮らしに変化はありましたか？

何に対しても、そこに至る背景や思いを重視するようになりました。安さ・勝手の良さではなく、今後も作り続けてもらいたい、応援したいものを買うように意識しています。また、同じ思いを持った友人にたくさん出会って、日々の生活が豊かになりました。



加入のきっかけを教えてください

義母が組合員で、醤油・ごま油など消費材をたくさん頂いていました。初めてケチャップを食べたときは「こんなに美味しいケチャップがあるのか!」と、市販品との違いに驚いたことを覚えています。その後、長女の産後をきっかけに「家族で美味しく安心・安全なものを食べたい」と組合員になりました。

くらしに役立つ生活クラブの情報をお届けします♪

生活クラブライフを 楽しもう♪

表紙の生活クラブステーション海老名での企画にて



私の おすすめ消費材ベスト3 ★

1位 北海道産かぼちゃの濃縮スープ

私も子どもも大好きでストックしています。缶からパウチになり、場所を取らなくなって嬉しいです。牛乳を加えて温めるだけで、朝ごはんによく登場しています。



2位 大学いも

優しい甘さで美味しいのはもちろん、自然解凍OKなのも嬉しい! 子どもにお弁当のおかず何がいい?と聞くと、必ずリクエストされます。



3位 牛どんの具

何もしたくないとき、これが冷凍庫にあるだけで穏やかに過ごせます。チェーン店とは比べ物にならないくらい美味しく、甘めの味付けが子どもに好評です。



ビオサポ 情報

*ビオサポ:生命を意味する「BIO」と「美」をかけ、生命力にあふれた健康な食生活をサポートしていく、という意味の生活クラブの造語



ビオサポレシピサイト→

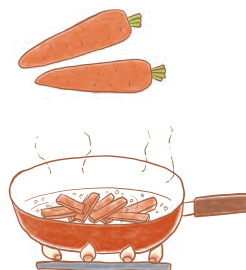
フライドにんじん

凝縮されたにんじんの甘さにやみつき!



材料(4人分)

- 人参…………… 2本(360g)
- 片栗粉・なたね油…………… 適量
- 真塩…………… 少々
- パセリ…………… 適宜
- ★根生姜(すりおろす)… 1/2片
- ★にんにく(すりおろす)… 1/2片
- ★丸大豆醤油…………… 大さじ1と1/2
- ★酒…………… 大さじ1



作り方

- 1 人参は長さ半分に切り、1cm角の棒状に切る。
- 2 ポリ袋に①と★を入れてもみ込み、20分ほどおく。汁気をきって片栗粉をまぶし、170℃に熱したなたね油で5分ほど揚げる。にんじんが浮いてきたら、油をきって真塩をふる。
- 3 器に盛り、好みでパセリを添える。

みんなの 大募集 レシピ

本コーナーでは2023年5.6月号から、組合員のみなさんから募集したレシピを掲載します。「えぼ」で自慢の一品を紹介しませんか?

- 募集テーマ ①夏のレシピ ②秋のレシピ
- 募集時の項目 レシピ(材料・作り方)、完成写真、レシピのポイント、レシピにまつわるエピソード

レシピが選ばれた方には取材を行います。名前・所属・顔写真掲載OKの方でのご応募をお願いします。

応募はHPから





生活クラブから地域へ

誰一人取り残さない 地域を いまつくろう



はたらつく・ひらつかのお楽しみサロン。ラオスの子どもたちに翻訳した絵本を贈りました

「みんなの居場所」から一歩、就労準備支援事業の修了者を含め、困難や孤独を感じている人がいつでも誰でも気軽に顔を出せる場所です。さがみ生活クラブ組合員サポーターと共に活動を進めています。また家族が二次的な孤立を招かないよう、家族支援も行っています。



はたらつく・ひらつか利用者の花農家での体験実習

● **みんなの居場所「ここから」**
座間市ひきこもりサポート事業
座間市から委託を受けて、生活クラブ神奈川、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会、さがみ生活クラブとの共同で運営



はたらつく・ゆがわらの学習支援

就労支援

- **はたらつく・ゆがわら**
座間市就労準備支援事業
- **はたらつく・ゆがわら**
足柄下郡就労準備支援事業・居住不安定者等居宅生活移行支援・学習支援事業
- **はたらつく・ひらつか**
平塚市就労準備支援事業

地域の方や社会福祉協議会などの諸団体と連携して、働くことに不安や悩みを抱えた方、一人ひとりに寄り添いながら、日常生活・社会生活・就労の自立、定着支援を行っています。「人と人がたすけあい、困難を抱えるすべての人たちが共に生きていける」そんなまちづくりの実現を目指しています。

エネルギー供給の不安定化・物価高騰・円安など、世界の動きが私たちの暮らしに影響を与え、格差・貧困が広がっています。セーフティネットとしての社会保障制度は機能を失い、誰もがこの当事者となるリスクを抱えるいま、困難を抱える方への支援を一人ひとりが自分事として捉え、課題解決へのアクションを起こすことが必要です。

生活クラブ神奈川では人と人が向き合う組合員活動を基盤に、高齢者はもとより若者・子ども世代が安心して生きられる、たすけあ地域づくりをすすめています。

家計改善支援

生活困窮者・生活保護受給者を対象に、家計管理の方法や生活費見直しのアドバイス、債務整理手続きのための支援や滞納（家賃・税金・公共料金など）の解消、各種給付制度の利用に向けた同行支援などを他団体と連携して行っています。



フードドライブ活動

家庭で使い切れない未使用食品を回収し、必要とされている方・施設などに提供する活動。市民同士のたすけあいである、食料支援活動です。期間を決めてコマンスは配達時、デポはフロアで食品を回収しますが、期間外でも「フードバンクかながわ」へ直送で提供できます。フードバンクかながわでの仕分けには、組合員ボランティアも参加しています。

デポの回収ボックス



「フードバンクかながわ」での仕分け（写真はコロナ禍以前）



フードバンクかながわHP

若者おうえん基金

児童養護施設や里親家庭など「社会的養護」下にある若者の自立を支援する、首都圏若者サポートネットワーク「若者おうえん基金」へのカンパ活動を、生活クラブ共済連合会・生活クラブ東京・生活クラブ埼玉と連携して実施しています。

居場所アソシエーション基金

孤立・孤独を感じている方を支え合うために地域に居場所をつくる、組合員発の活動を支援する基金です。2019年から始まり、これまでの助成団体は40件。子ども食堂、フードパントリー、遊び場・学ば場、フリースクール、オレンジカフェ（認知症）など、多様な取り組みが進んでいます。助成は年2回、立ち上げ時の活動経費や設備整備費などが対象です。



フォーラムの実施など、助成団体の活動から地域の課題を考える機会もあります

「はたらつく」レポート

湘南生活クラブエリアの就労準備支援事業

はたらつく・ゆがわら

湯河原駅近くの「ゆがわら」には主に生活保護受給者が通い、日常生活の自立を目指して掃除・洗濯などのプログラムを受講しています。なかには、生活クラブの小田原センターを掃除するW・Coで体験を重ね、就労した方もいるそうです。

はたらつく・ひらつか

「ごま」「ゆがわら」に次いで、2021年から事業を開始した「ひらつか」。利用者は20代から60代に渡り、生活スキルアップセミナーや一人ひとりに寄り添った個別支援を行っています。

「ひらつか」では季節感を大事にしたお楽しみサロン、ヨガ・太極拳などを動かす講座を開催。生活保護を受けるために嫌々来ていた方が、講座に参加し交流することで明るくなっているケースも見られ、組合員ボランティアサポーターも活動の意義を感じています。

「みんなの居場所」から一歩、就労準備支援事業の修了者を含め、困難や孤独を感じている人がいつでも誰でも気軽に顔を出せる場所です。さがみ生活クラブ組合員サポーターと共に活動を進めています。また家族が二次的な孤立を招かないよう、家族支援も行っています。

「ゆがわら」「ひらつか」共に、地域の事業所やデポなどの協力で就労準備としての体験実習を行っています。実習場所は少なく協力事業所を開拓中です。応援する人がたくさんいることは、利用者の元気に繋がります。気軽に利用や相談ができる居場所になるため、「はたらつく」は地域に出る活動を続けています。

湘南生活クラブ 原あずさ



一般家庭の年間電気消費量に換算して5,700世帯分の電気を発電する、庄内・遊佐太陽光発電所。生活クラブのお米「庄内遊YOU米」の産地にあり、砕石工場跡地を利用しています。

「食べ物と同じように、電気もつくり方に納得できるものを使いたい」と考えた組合員の声で生まれた「生活クラブでんき」。電源構成の約85%が再生可能エネルギーで、2030年までに100%にすることを目指しています。電気をつくる人・使う人の顔が分かることが特長です。

※2021年度実績



自分たちが使う
電気は自分たちで
つくろう

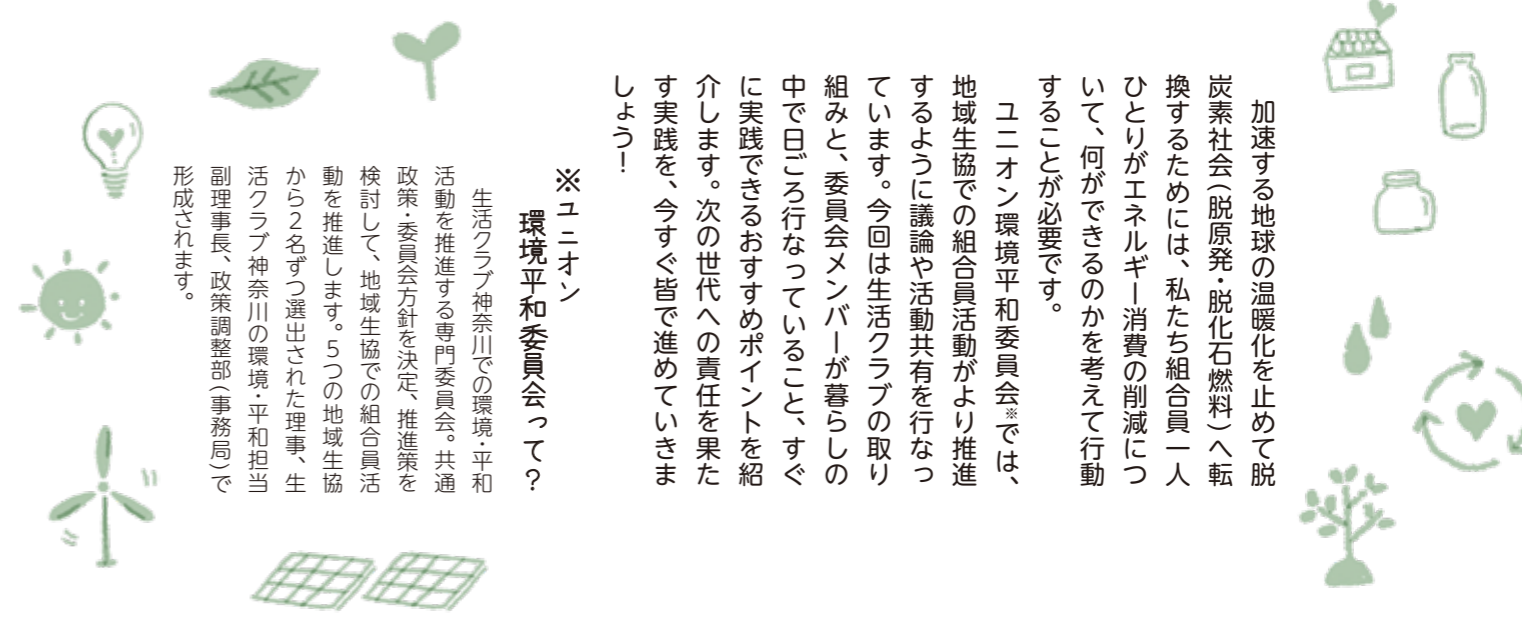
脱炭素に向けた 小さくても 大きな一歩を

加速する地球の温暖化を止めて脱炭素社会(脱原発・脱化石燃料)へ転換するためには、私たち組合員一人ひとりがエネルギー消費の削減について、何ができるのかを考えて行動することが必要です。

ユニオン環境平和委員会では、地域生協での組合員活動がより推進するように議論や活動共有を行なっています。今回は生活クラブの取り組みと、委員会メンバーが暮らしの中で取り組んでいること、すぐに実践できるおすすめポイントを紹介いたします。次の世代への責任を果たす実践を、今すぐ皆で進めていきましょう！

※ユニオン
環境平和委員会って？

生活クラブ神奈川での環境・平和活動を推進する専門委員会。共通政策・委員会方針を決定、推進策を検討して、地域生協での組合員活動を推進します。5つの地域生協から2名ずつ選出された理事、生活クラブ神奈川の環境・平和担当副理事長、政策調整部(事務局)で形成されます。



ごみを減らして
CO₂削減

家庭ごみの約60%は、容器や包材によるものと言われています。生活クラブでは、びんを回収・洗浄してリユース(再使用)、プラスチック類をリサイクルする「グリーンシステム」に取り組んでおり、2021年度はCO₂排出量2,605tを削減しました。

このマークがついたびんは回収へ!



R(リユース)びんの回収後が分かる動画も公開中!



詳しくはHPへ

私はベランダに小さな太陽パネルを置き、ポータブルバッテリーに充電しています。スマホ・掃除機・パソコンの充電をほぼ賄えます。日照時間と太陽の傾きで発電効率が変わり、季節の移り変わりも感じられ、楽しさ倍増です！



さがみ生活クラブ 斎藤 香菜

「原発に頼らず化石燃料に依存せず、再生可能エネルギーの割合が高く、電源構成が毎月明らかにされている正直な「生活クラブでんき」。発電施設のある地域への貢献と自然環境への影響に留意している「でんき」が「こ」あります！



横浜みなみ生活クラブ 谷本 治江

5人家族のわが家では省エネ・節電を意識しています。お風呂に入る時間帯はキックとまとめて！家電はこまめにオフ！今はアンペアダウンも検討中です。



さがみ生活クラブ 岡田 純子

シミュレーションはHPへ



所属する commons で、剥がれにくい Rびんラベルの剥がし方・剥がれやすさのアンケートをまとめました。その後、Rびん・P(ピッキング)袋回収の呼びかけチラシを他の commons とも連携して作成。横浜北生活クラブ全体で共有しました。



湘南生活クラブ 城田 雅江 横浜北生活クラブ 山崎 秀

Rびんの返却は生活クラブ加入と同時にスタートした環境活動だと思えます。使い終わったRびんを洗って返却するだけで、CO₂削減に貢献できるなんて凄いですよね！知り合いにケチャップをプレゼントしても「びんは返してね」とお願いしています。

無関心でいられる人はいいても、無関係でいられる人はいません

東日本大震災から12年が経ちましたが、被災地は「復興した」とは言い難い現状です。福島第一原発の事故処理は今も終わっていません。

止まらない地球過熱化、新型コロナの流行、ロシアのウクライナ侵襲による不安定な世界情勢に伴い、エネルギーを取り巻く状況は12年前よりも厳しくなっています。私たちが日々の暮らし方を見つめ直さなければ、子どもたちの未来を守ることができません。省エネや節電を心がけることに加えて、いま使っている電気がどこで、どのようにつくられて自宅に届いているのか、コンセントの向こう側を考えてみませんか？

地球に優しく未来に繋がるプライスレスな価値が、生活クラブでんきにはあります。無関心でいられる人はいいても、無関係でいられる人はいません。一人ひとりの選択が大きな力になります。

まずは生活クラブでんきホームページで「電気料金シミュレーション」を試してみてください。さい。私たちのでんきを使う仲間を増やしましょう！

アクト
カルチャースクール ACT TEL 045-472-7633
カルチャースクール・アクト 検索 FAX 045-472-7644

春の特別講座 入会金不要

春休み親子パン教室
キャラクターパンや動物パンを作る。3才以上の家族対象。
調理台1台に1組または1家族。1日5組限定。
3/27(月)～4/1(土)(3/29(水)は除く)
10:30～12:30 4,000円/1組/①込(1名追加+500円)

1day 簡単金繕ぎ お気に入りの器を自分で直しましょう。
日時相談・予約制(土午前・日祝可) 7,300円/①込

ペットを描いてみよう 全3回
写真を見ながら色鉛筆(24～36色)で仕上げる。
3/24・4/7・4/14(金) 13:00～15:00
6,000円/3回 画用紙200円

2days 漢方オイルで手ヨガマッサージ&呼吸法
① 4/6・20 ② 5/18・6/1 ③ 6/15・29(木)
13:00～14:00 5,500円/2回/①込

星読みクラス 全6回 入会金要
～あなたの1年をよむ～(占星術の1年は3/21の春分から)
① 3/17・31、4/21、5/19、6/16・30
② 3/24、4/14・28、5/12・26、6/9
(金)14:00～15:30 17,000円/6回/①込

① **姿勢バランス改善** 13:30～15:00 脳神経系からのアプローチ
② **眼とカラダの体操** 15:30～16:30
4/7、5/19、6/16(金)
①2,500円 ②1,800円 ①②同時受講4,100円

基本から学ぶ十四経絡体操(脈診あり)
4/10(月)9:30～12:30 3,500円/①300円

マインドフルネス茶道
お点前に集中することでマインドフルネスな状態を体験。
4/8、5/13、6/10(土) 11:00～12:30 3,700円/1回/①込

気功瞑想 椅子に座って行う季節に合った気功瞑想。
4/19、6/14(水) 14:00～15:30 2,000円/1回

親子でフラワーアレンジ ドライになる花材を使って、親子で1つずつピアリーを作ります。
4/29(土) 10:00～12:00 5,500円/1組/①込

※各講座とも講座維持費200円が必要。日程が変更になることがあります。詳しくはHPへ→

オルタスクエア TEL 045-476-1105
オルタスクエア 検索 FAX 045-476-1106

床下への合成殺虫剤散布はもうやめよう

住宅に関わる有害化学物質で量も多く一番危険なのは、床下へのシロアリ防除殺虫剤散布です。現在でも多く使われている有機リン系殺虫剤や、新たに増えているネオニコチノイド系殺虫剤について、子どもの発達に影響を及ぼすことを示す研究が増えています。オルタスクエアでは専門家による点検、沖縄の植物「月桃(げつとう)」によるシロアリ駆除など、住まい手やペットの健康を守る代替策を用意しています。ぜひご相談ください。



「月桃」の成分で関東のヤマトシロアリは防除できます

オルタ健康ステーション TEL 045-471-1733
オルタ健康ステーション 検索 FAX 045-472-0109

予約制 からだ健康チェックデー

オルタ薬局あんず新横浜店薬剤師のアドバイス付き

日時 毎月第1土曜日・第3火曜日の予定
11:15～15:45(最終受付15:15) 所要時間30分程度
▶4～5月は第3火・土曜日に開催
4/15(土)・18(火)、5/16(火)・20(土)

内容 ①ボディチェッカー(自律神経測定・血管年齢測定)
②肌測定(肌のキメ・シミ・油分・水分・弾力測定)
③毛細血管観察 ④身長計
⑤体組成計 ⑥血流計

料金 測定1種類につき500円(税込) ※④⑤⑥は無料

当日ご利用になれない機器がある場合もございます。ご予約はお電話にて。

オルタ館 インフォメーション

生活クラブ神奈川の施設「オルタナティブ生活館」を中心に活動を行う関連会社、関連団体の講座、イベント情報、キャンペーン等をお伝えするコーナーです。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、企画を中止する場合があります。詳細はお問い合わせください。

NPO法人 フォーラム・アソシエ TEL/FAX 045-472-7093
フォーラム・アソシエ 検索

聞いていますか? 子どもの声

～新年度を前に、ストレスなく進める片付けのコツ～

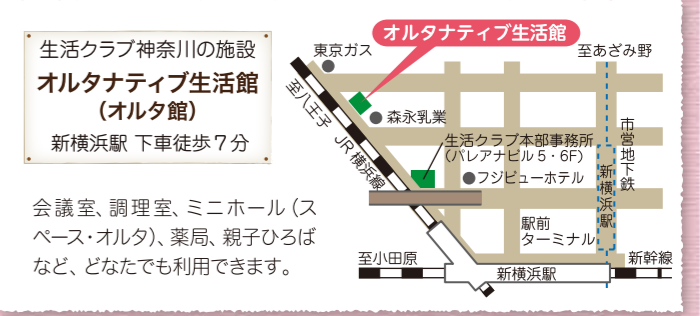
日本政府が「子どもの権利条約」を批准して28年。子どもの権利は社会にどれだけ浸透したのでしょうか? 子どもを守ることと同様、子どもが意見を表明し参加する権利はとても大切です。まずは、身近なところから大人が意識を変えましょう。今回は、当法人会員で整理収納アドバイザーの岩崎 尚子さんから、片付けをストレスなく進めるための子どもへの声かけ講座開催のご相談はフォーラム・アソシエまで

子どもが片づけてくれないとお悩みの方へ

片づけが親目線になっていませんか?

- 「使うor使わない」と物を分けるとき、子どもに判断してもらっていますか?
- 収納グッズが持ちにくかったり、重すぎたりしませんか?
- 物をしまふ場所と使う場所が離れていませんか?
- 細かく仕切られているなど、収納方法が複雑になっていませんか?
- 子どもの身長に合わせた高さで物の位置を決めていますか?

子どもの物を片づけるポイントは子どもに合わせること。使いづらいところはないか、お子さんにインタビューしてみてはいかがでしょうか。



スペース・オルタ 会場スペース・オルタ(オルタ館地下1階)
スペース・オルタ 検索 TEL/FAX 045-472-6349 (担当/佐藤)

平和カフォーラム横浜2023・第6弾/連続インタビュー講座的場 昭弘「転換期の思想を問う ー未来を拓くためにー」

市民社会の平和力が試されるいま、マルクスの視座の現代的展開を試みてきた場 昭弘氏(神奈川大学教授/経済学・マルクス学)を迎え、前田 朗氏(戦争犯罪論・国際人権法)がインタビュアーを務める市民的対話の場を開きます。

第1回/4/22(土) 帝国主義戦争の時代に
ロシア・ウクライナ戦争を導入として、現代帝国主義の戦争を考える

第2回/5/13(土) マルクスとともに考える
近代資本主義とそのもとにおける人間像を考える

第3回/6/3(土) 待ち望む力 ー科学もユートピアも
近代世界における思想はどのように現実に迫り、将来の社会構想を描き出してきたか。社会の変革に挑んだ思想の現代的意義に焦点を当てる

時間 各回14:30～16:40(14:00開場)
料金 各回 当日1,200円、予約1,000円
予約・問合せ スペース・オルタ

主催: 平和カフォーラム ✉ akira.maeda@jcom.zaq.ne.jp(前田)
協賛: スペース・オルタ、脱原発市民会議かながわ、福島原発かながわ訴訟原告団

理事会だより

●第7回定例理事会(12/23) ●第8回定例理事会(2/6) ●

- | 討議事項 | 報告承認事項(抜粋) |
|--|---|
| 1. 「持続可能な牛乳・乳製品」の共同購入に向けて神奈川方針案について討議した。 | 1. 牛乳の利用結集活動計画神奈川共通推進策について承認した。 |
| 報告承認事項(抜粋) | 2. 生活クラブ神奈川における東日本大震災復興支援活動2022年度総括と2023年度計画について承認した。 |
| 1. 2022年度「デポー活用新機能スタートアップ助成」助成団体・助成金額について承認した。 | 3. 生活クラブ神奈川SDGs宣言進捗点検、および2023年度以降の進め方について承認した。 |
| 2. NPO法人さくらんぼの「生活クラブ福祉事業基金」への助成申請推薦について承認した。 | |

編集後記 希望が大きければ困難も大きい。でも挑まないと何も変わらない。いや、あらぬ方向に変わってしまう。みんなで学び、務め、励むことが大切! と実感する今日この頃です。(me)

公告 第52回 生活クラブ生活協同組合・神奈川 通常総代会の開催

生活クラブ生協定款第45条に基づき、以下の通り通常総代会を開催します。
日時 6月16日(金) 10:00～12:50 **会場** ワークピア横浜
内容 2022年度活動報告の承認/2022年度事業報告書および決算関係書類の承認
監査報告/2023年度事業計画及び活動方針の決定/2023年度予算の決定/役員報酬限度額の決定/役員選挙/定款の一部改訂/第52回通常総代会特別アピール

総代の公募 総代は生活クラブ生活協同組合の最高決議機関である総代会に出席し、組合員の代表として年間活動方針を審議し、決定する重要な役目を持ちます。任期は1年です。
※立候補・推薦される方は締め切り日を確認のうえ、各区分選挙区の総代選挙管理委員会まで立候補あるいは推薦届けを提出してください。各区分選挙区で民主的な手続きを経て選出となります。

役員選挙の公示
定款第21条に基づき、役員を選挙します。
役員定数と選挙区分
理事: ユニオン理事会推薦枠(非常勤)1人
監事: 湘南区分選挙区 1人
2023年3月13日
生活クラブ生活協同組合・神奈川
理事長 篠崎 みさ子
問合せ 第52回通常総代会事務局
(政策調整部) ☎045-474-0985

地域でともに活動しています! オルタスクエア株式会社 安全、健康で、地球にも未来にも優しい住まいの相談相手

生活クラブ神奈川の住宅部門である当社は、組合員の皆さんの住まいを中心に、自然素材を活用したリフォームなどを手掛けています。これに限らず、私たちはいま広がっている地域の拠点・居場所でも、心と体の健康を支える自然素材の活用が広がってほしいと願っています。



2022年4月に開設した「一むら麻生」では、床には国産杉材、壁には珪藻土を使用し、深呼吸したくなるような住空間と空気環境を実現することができました。また「戸手生活館」では、大勢の組合員が参加したDIYで、壁を「漆喰」に仕上げるお手伝いをしました。

今後、地域の中に子育てや介護、共育や交流などを目的とした拠点・居場所が増えることがますます大事になります。その空間を住環境の面からも、ほっとくつろげるものにしていきましょう。 事務局 山田 孝志

画像 左: 一むら麻生(川崎市麻生区) 右: 戸手生活館(川崎市幸区)での漆喰DIY
HPはこちら→

つながりを絶やさず 被災地とともに生きる 未来をつくらう

2022年度 復興支援活動報告

4～9月 ひまわりプロジェクト

全国でひまわりを育て収穫した種をNPO法人シャローム(福島県)へ送り、加工することで地域の復興支援に役立てる活動。神奈川では目標500口に対し656口の参加があり、支援の輪を広げました。



詳しくは生活クラブ連合会HPへ

8月 リフレッシュツアー

子どもたちの放射能汚染からの一時避難を目的に、福島・栃木の組合員とその家族に神奈川で過ごしてもらう企画。詳しくは『えぼ』22年11.12月号に掲載*。



9月 復興・共生フォーラム 参加者:94名

被災地団体と神奈川で支援する団体を招き、お互いの活動状況や今後の展望を共有し理解を深めました。復興支援活動を継続する参加者同士の連帯を深める機会になりました。

10月～2023年4月 甲状腺検査活動

福島第一原発事故で子どもの甲状腺がんの不安が高まったことから、2012年から全国の生活クラブで始まった活動。福島県内での小児甲状腺がんが多発しているという調査がある一方、福島県は「甲状腺がんと放射線被

東日本大震災・福島第一原発事故から12年が経過しました。福島県では避難指示の解除がすすんでいます。住民の生活再建やコミュニティ再生などが課題となっています。また、震災後に人口流出がすすみ高齢化が加速した地域も多く、縮小した地域経済の復興は道半ばです。

2022年8月に、政府は原発推進方針を表明。原発再稼働・次世代型原発の新增設などをすすめようとしています。2023年春からは福島第一原発放射能処理水の海洋放出が予定され、環境への影響や風評被害などが懸念されています。過去の教訓が活かされない政治に対し、私たちは市民の手で被災地と共に生きていく活動を継続していく必要があります。

ばくの関係は認められない」との見解を示しています。市民による継続的な検査でデータを蓄積して被災地の問題に取り組み、脱原発社会に繋がります。

神奈川では全国で最も多い104名の組合員(とその子ども)が参加しました。



詳しくは生活クラブ連合会HPへ

11月 第9回東日本大震災・復興まつり

支援から共生への転換をテーマに、3年ぶりに会場開催しました。詳しくは『えぼ』23年1.2月号に掲載*。

売上金額:総額4,068,174円 カンパ金:500,354円



*生活クラブ神奈川HPからデジタルブックでご覧ください

復興支援 カンパ

復興支援活動にかかる費用を組合員カンパで支えるため、2013年から実施しています。

2022年度実績 金額:3,221,000円

参加人数:3,239人 口数:6,442口

参加者募集

市民基礎講座

問い合わせ

NPO法人
全員参加による
地域未来創造機構
☎045-534-7131
✉minnano@miraikikou.org

詳しくはHPへ



市民基礎講座 参加者の声

漠然とイメージしていたことが具体的に
なり、これから自分が活動を始める
上での指針ができました

何か始めたいな、と
ふんわり考えている方にも
ぜひおすすめしたいです

組織概要(神奈川)

組合員人数 86,937人(2023年1月末 57人減) 1月度加入 493人、脱退 550人
世帯当り利用高 30,558円(2022年12月) 世帯当り出資金 131,984円(2022年12月)

information

「地域の居場所をつくりたい」「地域に貢献できる活動のヒントを得たい」

2022年度はこんな思いを持った35名が受講し、好評を得た「市民基礎講座」。2023年度は横浜・相模大野・大船の3ヶ所で開催します。他にも県内2ヶ所で開催の「リーダー講座」、傾聴やコーチングなど10テーマで地域活動に役立つ「キャリアアップ講座」も開催します。

ちよこつとQの答え▶ちよこつとQの答え▶「横浜北・横浜みなみ・かわさき・湘南・さがみ」。それぞれの地域に合わせた組合員活動を展開しています。

*「地域生協」に関する記事は2～5ページに記載

